

# 『子どもの脳の育て方』

黒川伊保子 講談社 2023.3.

本書のサブタイトルは「AI時代を生き抜く力」です。脳の発達段階における大事な子どもへの関わり方を教えてくれている本です。

## ◆「金」のルール・・・ホルモン制御のための生活習慣のこと

それは、「早寝、早起き、朝ごはん、適度な運動、そして読書」

## ◆脳のゴールデンエイジ

9歳の誕生日から12歳の誕生日までの3年間。この3年間は脳の成長がめざましく、脳神経回路のネットワークが劇的に増える。つまり、眠っている間の脳の進化がすさまじい。当然、この3年間は、**読書適齢期**でもある。(中略) 日常出会えないものに出会える**読書の旅**を、子どもたちの脳に与えてあげてほしい。

## ◆主語なしNO (ノー)

主語なしのNOには、暗黙の主語がつく。それは「世間」。「普通ダメだろ」「みんな無理だと思ってる」のように、世間を代表して、逃げ場のない**全否定**をしてしまう。(中略) このため、主語なしNOは、**相手の自己肯定感を著しく下げる**傾向にある。

## ◆感性の翼

質問を叱ったり、からかったり、無視したりすると、子どもはやがて質問しなくなる。怖ろしいことに、浮かんだ質問を呑み込むうちに、質問そのものが浮かばなくなるのである。**質問力が問われる時代**に、それはとても惜しいことだと思う。

AI時代に必須の「感性の翼」を子どもにあげるために、子どもの**質問を祝福**しよう。